

漁海況月報

令和7年10月1日

No. 10

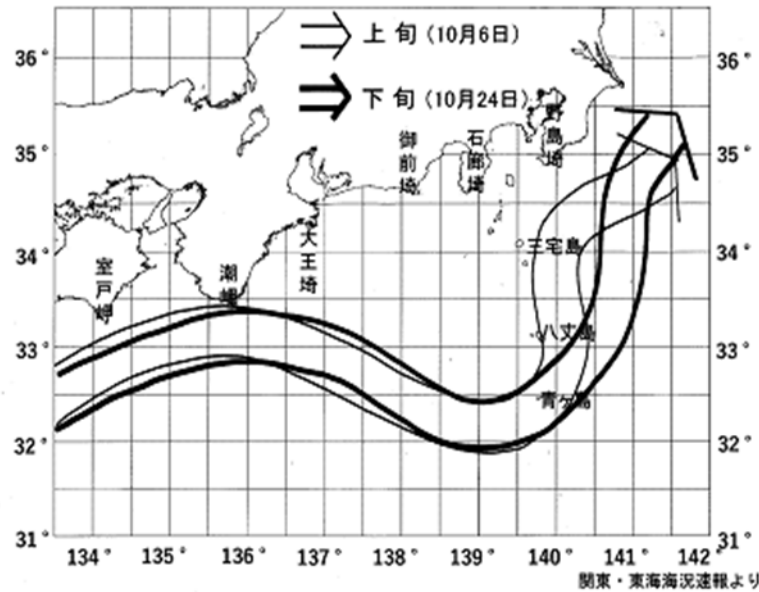
～10月31日

静岡県水産・海洋技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



10月定地水温の旬平均値(℃) (下段は平年値*からの偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	23.7	23.6	23.5	24.1	24.1	24.3
	0.5	0.0	0.1	0.3	0.5	0.8
中旬	24.1	24.1	23.5	23.1	23.1	23.2
	1.9	1.2	0.9	0.2	0.2	0.6
下旬	21.9	21.3	21.2	22.2	22.0	21.5
	0.6	-0.7	-0.5	0.2	0.1	0.0
月	23.2	22.9	22.5	23.1	23.0	23.0
	0.9	0.1	0.0	0.2	0.3	0.4

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

10月を通じてC型で、上旬は石廊崎沖で大きく離岸した後に青ヶ島を通過しながら八丈島の東側をS字状に北上し、中旬と下旬は八丈島の東側をそのまま北上する流路となった。

上旬は石廊崎沖で大きく離岸した後、石廊崎沖32.5°N付近から八丈島と三宅島の東をS字状に通過した。その後、野島崎沖34.5°N付近まで北上し、北東に流去した。

中旬も石廊崎沖で大きく離岸した後、石廊崎沖32.5°N付近から青ヶ島を通過しながら八丈島の東を通過した。その後、野島崎沖34.5°N付近まで北上し、北東に流去した。

下旬も中旬と同様に石廊崎沖で大きく離岸し、石廊崎沖32.5°N付近から青ヶ島を通過しながら八丈島の東を通過した。その後、野島崎沖34.5°N付近まで北上し、北東に流去した。

【沿岸域水温】

上旬は稲取、下田、雲見で「平年並み」、伊東、沼津、焼津で「やや高め」、であった。中旬は雲見、沼津で「平年並み」、稲取、下田、焼津で「やや高め」、伊東で「高め」であった。下旬は稲取、下田で「やや低め」、雲見、沼津、焼津で「平年並み」、伊東で「やや高め」であった。

【竿釣カツオ】

10月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは33.3トンで前年同月(53.5トン)の62%であった。平均単価は386円/kgで前年同月(284円/kg)を上回った。

漁場は33°N、138-139°Eの御前崎～石廊崎沖であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	平均水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
R7年10月上旬	21.1	8	2.6	372
中旬	10.9	12	0.9	394
下旬	1.3	1	1.3	562
R7年10月計	33.3	21	1.6	386
R6年10月計	53.5	14	3.8	284
R5年10月計	59.2	23	2.6	426

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は317.0トンで、前年(287.9トン)の1.1倍、平年(319.1トン)の99%であった。また、1か統当たりの水揚量は45.3トン(前年:41.1トン、平年:45.6トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(76.1トン、さば類、ヤマトカマス、ヒラソウダ)、次いで古網漁場(60.9トン、さば類、ヤマトカマス、ウルメイワシ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、さば類は91.6トン、前年比2.7倍、平年比1.1倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは1.4トン、前年比57%、平年比19%、ゴマサバは74.4トン、前年比3.5倍、平年比1.0倍、さばっこ(小型当歳魚銘柄)は17.2トン、平年比2.2倍(前年は水揚げ無し)であった。ヤマトカマスは77.6トン、前年比71%、平年比2.7倍であった。マアジは24.6トン、前年比2.0倍、平年比1.1倍であった。マルソウダは17.0トン、前年比49%、平

年比44%であった。ウルメイワシは15.7トン、前年比2.6倍、平年比1.4倍であった。その他の魚種については、キハダが9.9トン、前年比1.1倍、平年比12.9倍で、昭和62年以降、最も水揚量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、以下（表）のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では伊豆山漁場が25%（22.7トン）、富戸漁場が23%（21.3トン）、古網漁場が21%（19.5トン）、赤沢漁場が20%（18.1トン）、ヤマトカマスでは北川漁場が29%（22.2トン）、伊豆山漁場が21%（16.5トン）、谷津漁場が19%（14.7トン）、マアジでは北川漁場が42%（10.5トン）、谷津漁場が22%（5.5トン）、伊豆山漁場が16%（3.9トン）、マルソウダでは伊豆山漁場が22%（3.8トン）、北川漁場が22%（3.7トン）、赤沢漁場が21%（3.6トン）、ウルメイワシでは古網漁場が64%（10.1トン）、伊豆山漁場が36%（5.7トン）であった。

＊平年：昭和57年～令和6年の平均値
多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚 種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	91.6	2.66	1.08	伊豆山、富戸、古網、赤沢
ヤマトカマス	77.6	0.71	2.67	北川、伊豆山、谷津
マアジ	24.6	1.98	1.13	北川、谷津、伊豆山
マルソウダ	17.0	0.49	0.44	伊豆山、北川、赤沢
ウルメイワシ	15.7	2.60	1.44	古網、伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通してたもすくい主体で操業した。漁場は、上旬は大島千波、中旬は御前埼沖、下旬は三宅に形成された。水揚量はゴマサバ9.6トン（前年同月比1.1倍）であり、1隻当たり水揚量は1.9トン（前年同月比1.9倍）であった。マサバの水揚げはなかった。平均単価は236円/kgで前月（266円/kg）を下回り、前年同月（213円/kg）を上回った。漁獲物の体長組成は、34cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R7年10月上旬	－	3.6	2	2	－	1.8	－	282	大島千波
中旬	－	1.6	1	1	－	1.6	－	65	御前埼沖
下旬	－	4.3	2	2	－	2.2	－	259	三宅
R7年10月計	－	9.6	5	5	－	1.9	－	236	三宅、大島千波、御前埼沖
R6年10月計	－	8.9	6	9	－	1.0	－	213	大島千波、利島、金洲
R5年10月計	－	71.3	11	15	－	4.8	－	156	大島千波、利島

＊水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。
＊表中の「－」は水揚げがなかったことを示す。

【サクラエビ船曳網】

令和7年度秋漁は10月29日から漁期が始まったが、10月の出漁はなかった。

【シラス船曳網】

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が401kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が442kgであった。平均水揚量は423kgで前年同月（95kg）の4.5倍、平年同月（過去5か年平均：179kg）の2.4倍であった。また、総水揚量は779トンで前年同月（92トン）の8.5倍、平年同月（256トン）の3.0倍で前年同月、平年同月を大きく上回った。平均単価は955円/kgで前年同月（1,754円/kg）の54%、平年同月（1,280円/kg）の75%で、前年同月、平年同月を大きく下回った。
＊平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

7港のシラス水揚量

漁 港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
遠州灘	新 居	29.7	10	109	272	1,083
	舞 阪	119.2	10	385	310	1,044
	福 田	115.2	9	222	519	865
	御前崎	74.4	14	124	600	818
駿河湾	吉 田	215.4	18	431	500	960
	用 宗	206.9	21	448	462	983
	由 比	18.0	8	117	154	795
R7 年 10 月計		778.8	90	1,836	424	952
R6 年 10 月計		91.6	51	964	95	1,754
R5 年 10 月計		82.4	55	979	84	2,003

＊各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、沼津港では41トン（前年同月比1.2倍、平年同月比2.2倍）、小川港では69.1トン（前年水揚げなし、平年同月比339倍）、伊東港では0.03トン（前年同月比1.9倍、平年同月比0.8%）、静岡港では水揚げがなかった。カタクチイワシは沼津港、小川港、静岡港、伊東港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.009トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。
＊平年：過去5か年（令和2年～令和6年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

10月 2日 ～ 10月 3日	サクラエビ卵数法調査	(2日間)
10月 6日 ～ 10月 7日	サクラエビ卵幼生調査	(2日間)
10月 14日 ～ 10月 15日	サクラエビ音響調査	(2日間)
10月 16日 ～ 10月 17日	いわし卵稚仔分布調査	(2日間)
10月 20日 ～ 10月 21日	さば類撒き餌・音響調査	(2日間)
10月 23日 ～ 10月 24日	地先定線観測調査	(2日間)
10月 28日 ～ 10月 29日	キンメダイ漁場調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ
トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>
右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、
関東・東海毎況速報等を見ることができます。

